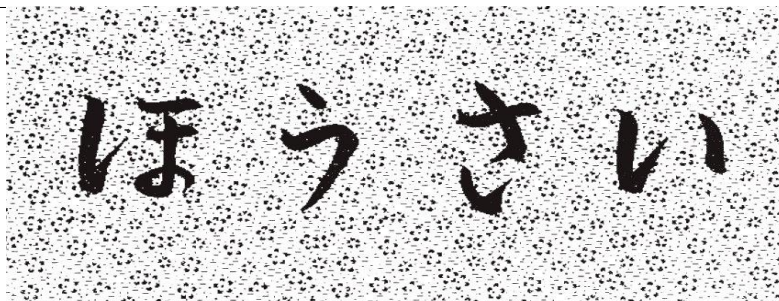


下落合クリニック
 新宿区下落合2-1-6
 03-3953-1711
 ときわクリニック
 取手市井野4430
 0297-74-1881
 境南クリニック
 武蔵野市境南町2-7-19
 0422-33-8411



第57号
 発行人
 医療法人社団 豊済会
 発行責任者 菊地 勘
 新宿区下落合2-1-6
 電話 03(3953)1711

Heartful Linkage

<http://housaikai.webmedipr.jp/>



足病変は
 なぜ怖い？

「足を大切にしましょう」

医療法人社団豊済会 理事長
 菊地 勘

1990年末に10万人程度であったわが国の慢性透析患者数は、2013年末には314,180人となり、実に国民全体の405人に1人が透析患者です。この慢性透析患者の増加は、糖尿病を原疾患とする透析患者の増加に伴うものであり、このことから動脈硬化関連疾患の合併症(心筋梗塞、脳梗塞、末梢動脈疾患など)が増加しています。

このような背景のなかで糖尿病性足病患者が増加しており、このあと紹介しているフットケア指導士(専門看護師)の仕事は重要となっています。慢性透析患者は足潰瘍の合併が高率で、適切な治療が行われなければ、潰瘍増悪から下肢切断にいたりします。このため、本年11月には豊済会3施設の看護師を対象にフットケア講習会を開催して、皆様のADL(日常生活動作: activities of daily living)の維持やQOL(生活の質: quality of life)の向上に貢献できるように、知識および技術の向上に努めてまいります。

また、私事ですが一般社団法人Act Against Amputation -なくそう、下肢切断-(ホームページURL <http://www.dm-net.co.jp/footcare/aaa/>)の立ち上げに参加して、全国の透析患者の下肢潰瘍発症や下肢切断予防の啓発に努めています。

～全国の透析患者の現況～

図1 下肢切断を受けた透析患者の割合

下肢切断を受ける透析患者は年々増加しています。自分自身の足で歩き続けられるように、日頃から足の観察やケアを行いましょ！

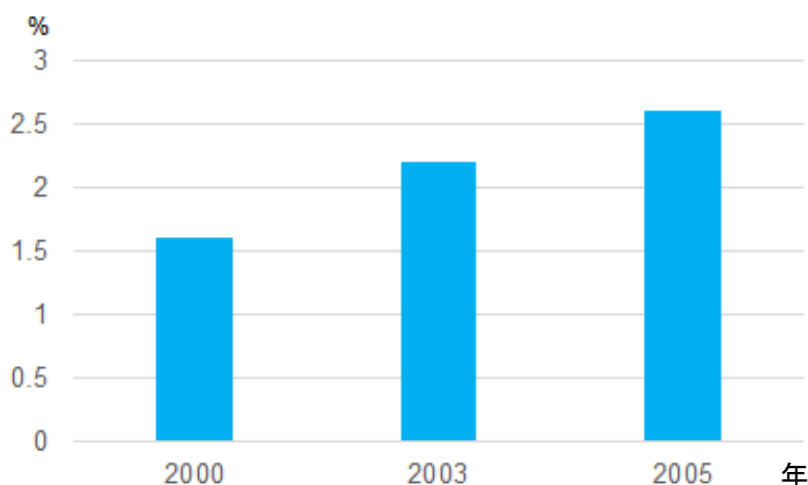
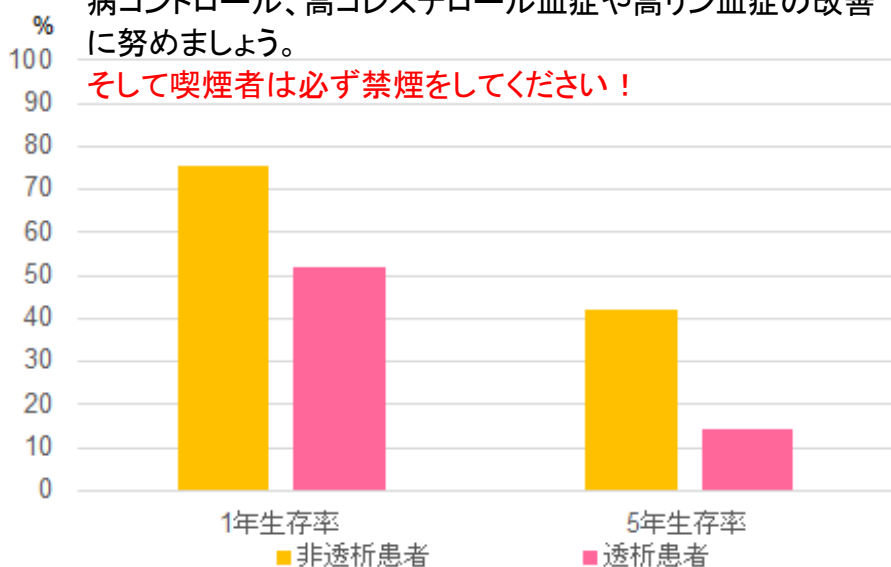


図2 下肢切断術後の生存率

透析患者は下肢切断後の生命予後が低率です。下肢切断の原因となる動脈硬化性疾患の予防のため、高血圧や糖尿病コントロール、高コレステロール血症や高リン血症の改善に努めましょ。

そして喫煙者は必ず禁煙をしてください！



ところで、透析医療は先人達の努力により透析技術レベルが向上したことから、患者の生命予後は著しく向上して、週3回の治療を受ける必要があること以外、腎機能正常者と大きく変わらない生活ができるようになりました。したがって、われわれ透析医療従事者の使命は、透析患者である皆様が仕事や趣味を継続し、家族や友人との生活を楽しみながら長生きしていく、このサポートを行っていくことです。豊済会3施設は、最新の知識や治療を取り入れて、透析合併症の管理を行いながら、患者様1人1人が安心して安全な透析治療を行えるように努めてまいります。今後も患者様のことを第一に考えて、スタッフ一同がんばりますので、皆様よろしくお願いたします。